

News Release

平成 23 年 8 月 30 日（火）

## 豊田 PCB 廃棄物処理施設 蒸留エリア内の少量漏洩について

平成 23 年 8 月 30 日（火）午前 9 時 30 分頃、当社豊田 PCB 廃棄物処理施設 1 階蒸留エリアにおいて、定期点検時に計器洗浄に用いた PCB 含有廃液が防液堤内に漏洩しました。（PCB 濃度 443mg/kg、漏洩量は 1 リットル未満。）

漏洩した洗浄液はすでに回収しており、これによる PCB 等の施設外への漏洩や作業員への影響はありません。

1. 当事業所では、5 月に行った定期点検時に計器洗浄に用いた PCB 含有廃液を順次処理していくため、蒸留エリアの防液堤内で一時的にポリタンクで保管しておりました。
2. 平成 23 年 8 月 30 日（火）、午前 9 時 30 分の巡回点検の際、蒸留エリアの床に液だまりができていたのを発見しました。  
このため、直ちに拭き取りによる回収作業を実施しました。なお、当該エリアは 1 日に 3 回巡回点検を行っており、それ以前の点検では異常は確認されておられません。
3. 漏れた廃液の量は 1 リットル未満で、PCB 濃度は 443mg/kg でした。エリア外への漏出はありません。  
エリア内の空気中の PCB 濃度についても、常時監視装置で異常は認められていないため、外部への漏洩はなく、周辺環境への影響はないことを確認しております。
4. 原因は、廃液を保管していたポリタンクにひび割れが発生し、そこから中の廃液が漏れたものです。
5. 当事業所で保管している他のポリタンクについては、応急の措置として、シートで堰を造り、その中に保管することとしました。恒久対策については、早急に検討し実施します。

<連絡先>

日本環境安全事業株式会社豊田事業所  
所長 庄賀 文彦（TEL 0565-25-3110）